



# かま

No. 563  
平成15年

# 5



目次

■小池清彦市長 3 歳	25
■県議会議員・市議会議員の横顔	33
■平成16年採用市職員・消防職を募集	9
■第37回雪椿まつり	1012
■長年の功労を讃え 春の叙勲	14
■やさしい医学・大会の結果	15
■加茂の風土記	16

雪椿まつり・市民茶会 (4月29日)



## 小池清彦氏が

### 市長に三選されました

四月二十七日に投開票が行われた加茂市長選挙において、小池清彦氏の三回目の当選が決まりました。翌二十八日に、三期目の登庁セレモニーが行われました。大勢の市民と市職員が拍手で出迎えるなか登庁した小池市長は、手渡された花束を受け取り、一人ひとりと固い握手を交わしながら庁内に入り、早速、市長室で公務に臨みました。

小池市長の新しい任期は、五月十日からの四年間で、三期目の小池市政がスタートしました。

お気軽においでください

### 市民と市長の「よもやま話」の日

七月 十日(木) 午後一時三十分から行います  
二十四日(木) 時間等については御相談ください

【受付・問い合わせ】 市役所3階総務課広報広聴係

(☎5210080 内線323)

までお願いします

# 小池清彦市長三期目の公約

① 加茂市政に常に新風を送り、市民中心の眞の民主的市政をさらに推進する。

「市民と市長のよもやま話の日」を活発に開催する。市民の皆様お一人おひとりを大切にし、お幸せにする市政をさらに推進する。

② 日本没落の重大危機を救済するため、政府が「七百兆円の国の財政赤字などは、日銀引き受けの国債発行によって一挙に消滅させることを辞せず」との固い決意を以て、断固たる拡大財政政策を推進し、景気を一気に回復するよう求め続ける。

③ 国及び県とさらに太いパイプを結んで、豊かな市政を推進する。政府が地方切り捨ての政策を行わないよう求め続ける。

市町村合併は、民主主義を破壊し、地方を破壊し、国を滅ぼす。市町村合併に断固反対して、国から来る金が周辺部地域は三分の一から四分の一に減り、加茂地域は毎年三十億円減り、県央東部は毎年百億円減り、県全体では毎年六百億円減ってしまう事態を阻止し、加

④

茂市と県央と新潟県を没落から守り抜く。なお、田上町の住民意向調査の結果、加茂との合併を望んでおられる方は、二十分の一に過ぎないことが判明したので、田上・加茂合併は、実現可能性がなくなり、決着したと考える。

もし田上と加茂が合併すれば、毎年来る交付税交付金が十億円余減り、下水道建設中止、第三平成園断念、福祉等諸政策大幅後退の惨たんたる結果を招く。

これまでに到達した日本一の福祉と児童福祉の水準を堅持し、さらに充実させる。

第三平成園の建設に着手する。

六十人のホームヘルパーを六十五人に増員する。

県下最低クラスの介護保険料を堅持する。

県下二十市中最低の保育料を堅持することを期する。多くのコミュニティセンターと二つの乳幼児の遊びの施設を豊かに運営する。

知的障害者援護施設の建設を常に念頭に置く。

年金の一〇〇%支給年齢を現行の六十五歳から六十歳に戻すよう求め続ける。

県の補助金中止により停止となる蒲原鉄道バス路線は、市民バスを十分に運行してカバーする。

盛況の温泉施設「加茂美人の湯」を豊かに運営する。

⑤ 女性が市政に参画する機会を十分に確保するとともに、女性が安心して子供を生み育てることができるよう加茂市をさらに充実する。

私が主張していた「育児休業三年」の制度を実現することができたので、この制度をさらに充実させるため全力を尽くす。

⑥ 教育は二十一世紀を背負う健全な青少年の育成を図り、行き届いた教育を行うことを基本とし、小中学校に対する支援をさらに充実する。

政府が教育のレベルを落とすことに断固反対し、日本人の実力が世界の各国民より劣ることにならないよう力を尽くす。

奨学資金を十分に提供する。  
スクールバスを十分に提供するとともに有効に活用する。

育成会活動等を十分に支援する。  
加茂西小学校新校舎の建設を常に念頭に置く。  
文化活動がさらに活発に行われるよう支援する。  
体育活動がさらに活発に行われるよう支援する。

温水プールを豊かに運営する。  
二〇〇九年新潟国体を念頭に体操施設の建設をめざす。

す。

⑦ 勤労者の生活を守り、さらに向上させる。  
労働界と緊密に提携し、定期協議を活発に行う。

⑧ 日本一の自然環境保全条例のもと、小京都加茂市の自然的・歴史的環境を大切にす。  
ごみ問題に的確に対処する。

加茂市全域にわたり、ハイキング道、史跡、憩いの場等を整備する。

加茂川内の雑木を除去し、山にはびこる竹を除去する。  
加茂市の山にバイオテクノロジーによる松くい虫に強い松を植える。

加茂山公園、栗ヶ岳県民休養地、下条川ダム公園等を豊かに維持運営する。

若宮公園の整備を進める。  
冬鳥越スキーガーデンを豊かに維持運営し、二千五百本のバラ園を開園する。

七谷の大谷に（仮称）二万年前旧石器公園を整備する。  
小林幸子さんの「雪椿」の歌碑を除幕する。

⑨ 橋梁の建設が進む（仮称）加茂信濃川大橋の早期完

成を期する。

国道四〇三号バイパスの建設を推進する。

天神林上条線の若宮町・長福寺間の整備を促進する。道路、水路、側溝、消雪パイプ等の新設や改良については、市民の皆様の御要望の実現に全力を尽くす。

⑩ 県下二十市中最低の水道料を堅持することを期する。下水道の整備は、毎年最大限の規模で推進する。

⑪ 政府が減反政策をやめ、余った米を海外へ出す政策をとるか、徹底した所得補償政策をとることを強く求める。

株式会社による農地保有に断固反対する。下条の圃場整備を推進し、高柳の圃場整備を開始する。

須田の広域農道を国道八号線まで延長する。

畜産農家の救済と住民とのトラブルの解消を図るため、家畜堆肥処理施設の建設をめざし、併せて有機農業を推進する。

未曾有の苦難の中にある農業の救済を期して、専業農家を強力に支援するとともに、兼業農家の存立と繁栄のため全力をあげる。

このため、農機具購入費三割以内補助の制度を堅持する。

⑫

会社更生法適用の(株)新潟鉄工所加茂工場、民事再生法適用の(株)丸五技研及び両社の下請け・孫請け企業の支援・救済に全力をあげる。

大不況下の各企業の支援・救済に全力をあげる。加茂市で全国を対象とする桐たんす・家具木工見本市を開催する。

中小企業経営安定資金融資、二百万円上限無担保無保証人の中小企業小口融資等を最大限に実施する。

商店街近代化事業を強力に推進し、五番町街区の事業を開始する。

商店街を断固守り抜く。

まるよしメリア店を再開することができたので、次は五番町店の再開に力を尽くす。

失業者の救済に全力を尽くし、やむを得ざる場合は生活保護を以て対応する。

加茂の登記所を存続させるため、全力を尽くす。

産業の振興と繁栄を図るため、市長みずから加茂市のトップセールスマンとなって、粉骨砕身する。

県議会議員選挙

金谷国彦氏が当選

四月四日に告示された、新潟県議会議員一般選挙加茂市選挙区では立候補者が一人のため、四月十四日に開催された選挙会で、金谷国彦さんの当選が決定しました。



金谷国彦氏  
（元加茂市教育  
委員長、国学院  
大卒 67歳 上  
興屋向）

新しい市議の顔ぶれ

四月二十七日に行われた市議会議員一般選挙には、定数を一人上回る二十三人が立候補しましたが、開票の結果、新人五名を含む二十二名の新議員の当選が決まりました。

広報かもでは、これから街づくりに活躍いただく議員の皆さんに、常に思っていること、考えていることなどをお尋ねしました。まとめたものを「22市議の横顔」として紹介します。

紹介する内容 ①趣味 ②セールスポイント ③いま加茂市に望まれるもの

④任期中に実現したいこと ⑤座右の銘  
五十音順・敬称略

22

加茂市議会議員の横顔

まちづくりの推進役

あん なか とし お

安中 利男 ① (64歳・小乙)

- ①旅行
- ②まず誠実であること、議員1年生として若くはないが、今までの経験を生かして責務にあたりたい。



- ③福祉、商、農、工業支援。  
民主的市政・加茂市に大きな夢を
- ④・勤労者の生活を守り、さらに向上を  
・七谷地区基盤整備  
・県道宮寄上加茂線整備
- ⑤不言実行

あん なか ひろし

安中 弘 ② (65歳・五番町)

- ①今は特に凝っているものはない。
- ②誠意と情熱と行動力
- ③産業の再生と活性化



- ④・商店街の街路事業と近代化事業の完了  
・地場産業の振興
- ⑤一生感動・一生青春

いま い しょういち

今井 詔一 ⑨ (58歳・松坂町)

- ①畑、川、囲碁
- ②努力
- ③・地域経済振興策など産業政策の構築  
・情報公開条例など行政の透明度を上げること



- ④市の中長期総合計画
- ⑤「幸福はひとりでは味わえない」

おお せき かつ まさ

大関 勝正 ④ (61歳・小橋一)

- ①囲碁
- ②真面目に取り組む
- ③市政運営を市民に開かれたものに



- ④情報公開制度の確立
- ⑤特になし

おお もも かず あき

大桃 一明 ⑦ (66歳・大郷町二)

- ①読書
- ②誠心誠意
- ③地域経済の振興対策



- ④情報公開条例の制定
- ⑤特になし

お の きちたろう

小野 吉太郎 ② (58歳・下高柳)

- ①作物を育てること
- ②人に温かく思いやる心
- ③景気回復と雇用回復の促進



- ④議員定数の見直し
- ⑤克己忍耐人間常道

## 加茂市議会議員の横顔

## まちづくりの推進役

さのせいざぶろう

佐野 正三良 ⑥ (53歳・新町二)

- ① 鯉釣り、映画鑑賞、旅行、畑、読書
- ② 現場第一主義、誠意誠実、生活者の政治
- ③ 経済再生、企業誘致、中心市街地・商店街の活性化、IT・BT社会の推進



- ① 加茂市情報公開条例の設置、IT社会の推進（光ファイバー網の設置）、知的障害者援護施設の建設推進、未就学児の医療費無料化

- ⑤ 一人の人を大切に  
・大人に己無し  
・我以外皆我師也

しげおかあきよし

茂岡 明与司 ③ (59歳・中大谷)

- ① 読書
- ② 実直で明るい性格
- ③ 不況の克服と各種産業の振興



- ① 市の活性化策  
・携帯電話不能地区の解消

- ⑤ 家康公遺訓

せき たつお

関 龍雄 ⑤ (63歳・八幡二)

- ① 土いじり、山登り
- ② 元気印



- ③ 市民の知りたい情報の公開  
・バランスのとれた福祉行政を  
・環境問題に配慮を

- ① 情報公開条例  
・元気な加茂市
- ⑤ 和顔愛語

たか い たもつ

高井 保 ① (66歳・新栄町)

- ① ゴルフ、写真等を少々
- ② 行動型であること  
・善し悪しがはっきりしていること
- ③ もっと元気をこの町に



- ・市民の声を元気の糧に、市民の声を聞く機会を…もっと

- ① 議員定数削減の方向で議員の皆様と協議していきたい
- ⑤ 恕（常に相手の立場で物事を考えられるようにと）

たか はし よしお

高橋 禧雄 ③ (59歳・新町二)

- ① スキー、野球、加茂松坂の笛・唄
- ② 笑顔、正直
- ③ 福祉の充実をはじめとした、豊かな市民生活を確固たるものにするために、産業並びに雇用の



- 場の創造が望まれる。

- ① 新産業の育成（夢）  
・交流人口（観光客等）の倍増と中心市街地（商店街）の活性化
- ⑤ 大局着眼、小局着手

たざわ こういち

田沢 弘一 ① (56歳・新栄町)

- ① スポーツ観戦、音楽鑑賞
- ② まごころと情熱を大切に活動
- ③ まちの活力を高める施策



- ① ジュニアスポーツの振興

- ⑤ 人生有情

なか の もとえい

中野 元栄 ② (54歳・岩野)

- ① 山歩き
- ② 初心を忘れず、政治活動を行う
- ③ 経済対策、教育・福祉の充実



- ① 温泉を中心とした経済効果

- ⑤ 心

ひぐち こうじ

樋口 浩二 ⑤ (61歳・青海町一)

- ① 山登り、魚釣り
- ② 人の心を大切にして共に行動する
- ③ 加茂市の活性化を目指して産業を振興させ、社会福祉の充実した加茂市づくりに努力していた



- だきたい

- ① 市街地環境整備、教育施設の整備、農業を含む産業の振興、信濃川新橋建設の促進、知的障害者施設等、福祉の充実した街づくり

- ⑤ 温故知新

ひぐち ひろむ  
樋口 博務 ④ (55歳・後須田第三)

- ① 絵画鑑賞
- ② 思いやり
- ③ 福祉保健施設の整備充実と老朽校舎の早期改築並びに教育環境の整備



- ④ 主要地方道長岡栃尾巻線バイパスの完成
- ⑤ 初心忘るべからず

ひろの とよさく  
広野 豊作 ① (63歳・若宮町一)

- ① 読書、ハイキング
- ② 不言実行
- ③ 産業振興、財政強化



- ④ 少子高齢化社会に安心の具現化
- ⑤ 和

ふる やま いっさく  
古山 一作 ⑩ (78歳・前須田)

- ① カメラ
- ② 誠実
- ③ 5万都市計画



- ④ 北越の小京都と豪農の加茂と田上の街づくり
- ⑤ 誠

ほしの しょうご  
星野 昭吾 ⑦ (73歳・下興屋向)

- ① 特になし
- ② 誠実でひたむきな行動力
- ③ 行政の透明度の向上



- ④ 情報公開条例の制定
- ⑤ 人生意気に感ず

もり やま かずみち  
森山 一理 ① (45歳・都ヶ丘)

- ① 創生、笑いの研究、路上観察学、哲学、書
- ② 笑顔、熱気、活気、元気、「噴」、愛ある言葉の提唱
- ③ 健全財政・雇用の促進(地域産業振興)・民



- 間の発想の取り組み・少子高齢化対策・教育環境の整備・ゴミの分別化(地球環境整備へ向けて)
- ④ 市議会議員定数削減・一人暮らしの高齢者支援・少子化対策・学校週5日制への対応
- ⑤ 「努力」「陽転思考」

やす たけ ひでとし  
安武 秀敏 ④ (63歳・幸町二)

- ① 社交ダンス
- ② 決断と実行
- ③ 市民参加の市政



- ④ 地域医療の充実
- ⑤ 誠

やすだ のりよし  
安田 憲喜 ② (61歳・赤谷)

- ① スポーツ(ゴルフ)
- ② 親しみと思いやり
- ③ 不況対策と教育日本一



- ④ 誇りと愛着の持てる住みよいまちづくり
- ⑤ 初心忘るべからず

やまだ よしえい  
山田 義栄 ② (49歳・上興屋向)

- ① パソコン、ゴルフ
- ② 体力、計算力
- ③ やはり、地場産業(農業も)を含めた産業の発展



- ④ 身近な生活環境整備と産業の育成による雇用の確保
- ⑤ 特になし

加茂市職員 加茂市・田上町消防衛生組合職員

職員採用試験を実施

平成十六年四月採用予定の加茂市職員と加茂市・田上町消防衛生組合職員の採用試験を行います。採用予定人員などは左表のとおりです。

- 第一次試験
- ▼一般事務職：教養試験、適性試験、性格診断試験、作文試験
- ▼土木技術職：教養試験、専門試験、適性試験、性格診断試験、作文試験
- ▼建築技術職：教養試験、専門試験、適性試験、性格診断試験、作文試験
- ▼用務員：労務適性試験、性格診断試験、作文試験

【加茂市・田上町消防衛生組合職員】

▼消防職：教養試験、適性試験、性格診断試験、作文試験

■試験日

▼一般事務職、土木技術職、建築技術職および消防職の各上級試験：7月27日（日）

▼一般事務職、土木技術職、建築技術職および消防職の各中級・初級並びに用務員試験：9月21日（日）

■第二次試験 第一次試験合格者に對し、面接試験を行います。

■申込書受付期間

▼一般事務職、土木技術職、建築技術

職および消防職の各上級試験：7月9日（水）まで

▼一般事務職、土木技術職、建築技術職および消防職の各中級・初級並びに用務員試験：7月22日（火）から8月29日（金）まで

（受付は、土曜日・日曜日を除く、午前8時30分から午後5時まで）

■提出書類 受験申込書（履歴書）は市役所総務課組織人事係にあります。消防職については加茂地域消防本部（☎5211770）にもあります。

■提出先・問い合わせ 総務課組織人事係（☎内線322）へ。

※受験申込は、左表のうち1試験職種に限ります。

【加茂市職員】

試験職種	採用予定人員	受験資格
一般事務職 〔上・中・初級〕 土木技術職 〔上・中・初級〕 建築技術職 〔上・中・初級〕	若干名	<p>【上級】昭和51年4月2日から57年4月1日までに生まれた人</p> <p>【中級】昭和55年4月2日から59年4月1日までに生まれた人</p> <p>【初級】昭和57年4月2日から61年4月1日までに生まれた人</p>
用務員	1名	昭和51年4月2日以降に生まれた人で普通自動車免許取得者または平成16年3月31日までに取得見込みの人

【加茂市・田上町消防衛生組合職員】

試験職種	採用予定人員	受験資格
消防職 〔上・中・初級〕	1名	加茂市または田上町に在住もしくは在住見込みの男性で次に該当する人
		<p>【上級】昭和51年4月2日から57年4月1日までに生まれた人</p> <p>【中級】昭和55年4月2日から59年4月1日までに生まれた人</p> <p>【初級】昭和57年4月2日から61年4月1日までに生まれた人</p>

# 第37回 雪椿まつり



左から 高野利栄子さん、五十嵐利恵さん、阿部一美さん

## 雪椿クイーンに五十嵐さん

ミス雪椿に阿部さん・高野さん

越後路に春を告げる雪椿まつりが今年も、四月六日から二十九日まで、ユキツバキとサクラが咲く加茂山公園を中心に盛大に開催されました。

四月六日は、開会式に続いてミス雪椿第一次審査会が非公開で行われ、応募のあった四十七名から公開審査に進む十人が決まりました。

十二日には、小林幸子さんの芸能生活四十周年、「雪椿」歌碑建立の記念リサイタルが文化会館で開かれ、経夜とも超演員で盛り上がりました。この二回公演の間に、加茂山で「雪椿」歌碑の除幕式が小林幸子さんも出席して開かれました。

翌十三日は、勤労者体育センターなどで第十九回雪椿杯バレー



ミス雪椿公開審査の様子



交歓大島

## 今年の大園遊会は

### 市民体育館で

メインイベントの大園遊会は十九日、あいにくの雨で市民体育館に会場を移して開かれました。ミス雪椿の公開審査では、ミス雪椿クイーンに豊栄市の五十嵐利恵さん（看護学校生）、ミス雪椿に新井市の阿部一美さん（大学生）と柏崎市の高野利栄子さん（病院職員）がそれぞれ

バレー大会が行われ、十市町から十八チームが参加しました。



大島・御神火太鼓



大島婦人会の皆さん



おおぜい集まった市民体育館



吉田町出身の  
上杉香緒里さんの歌謡ショー



雪椿民謡保存会の皆さん



大島 スーパーあんこ娘の皆さん

れ選ばれ、今後一年間いろいろな加茂市の観光PRなどに活躍いただくことになりました。

また、アトラクションでは、市内民謡四団体による歌と踊りが披露され、続いて吉田町出身の上杉香緒里さんの歌謡ショーが行われました。

園遊会の後半は「歓迎大島」で、友好都市の大島町との交歓が行われ、記念品の交換や大島御神火太鼓・大島町婦人会・スーパーあんこ娘による芸能披露がありました。

この後の市中パレードでは、小雨にもかかわらず駅前から大通りのアーケードに待ち受けた大勢の市民に、新しく決まったばかりのミス雪椿らが笑顔で手を振っていました。

このほか、この日は第二十四回雪椿マラソン大会が行われ、



大島の皆さんもパレードに参加



ミス雪椿クイーンとミス大島

翌二十日には「風雲！アケアコロシム&なんじゃの森」で大勢の子どもたちが加茂山を駆けめぐりました。

二十九日のみどりの日には、市民茶会が加茂山公園内で野点二席、青海神社拝殿で一席、それぞれ設けられ、参加者は一足早い薫風のなか茶味を楽しみました。



一朱吹奏楽団



交通安全母の会



ミス雪椿の三人



市民茶会



雪椿杯バレーボール大会



農ヶ岳山開き (4月29日)

# 「雪椿」歌碑が加茂山に完成しました

小林幸子さんの代表曲「雪椿」歌碑の建立記念式典が四月十二日、加茂山公園内で行われました。



この歌は、遠藤実さんが加茂で楽想を得て、作曲されたといわれる。「雪椿のまち加茂」のゆかりの大ヒット曲であります。

式典には、小林さんをはじめ作詞の星野哲郎さん、作曲の遠藤実さんらが出席、小南のなか小池市長らとともに除幕の紅白の綱を引きました。

歌碑は、高さ七十五cmの台の上に、縦百四十五cm、横二百十五cmの黒御影石製で、「やさしさとかいしよのなさが」で始まる星野さん、遠藤さん、それぞれ豪華の歌詞と楽譜が刻まれています。

歌は、一昨年亡くなった小林さんの母親イツさんをモデルに作られたものだけに「四十周年の節目の年に初めて歌碑を作っていたたき感無量です。母にも見せてあげたくて」と、イツさんの遺影を抱いた小林さんも感慨しきりの様子でした。

加茂市の花であり、新築集の木でもあるユキツバキの日本一の群生地・加茂山にまた新名所が誕生しました。



歌碑の除幕



文化会館ステージで歌碑建立記念リサイタル



作詞家 星野哲郎さん



作曲家 遠藤実さん



母イツさんの遺影を持つ小林幸子さん

5月9日  
リス園入園者100万人



リス園は、平成四年七月十九日にオープンし、今年で十二年目を迎えます。毎年四月から十一月までの間におおぜいの人たちが訪れてくれます。このリス園の入園者数が百万人を超えました。百万人

目には三条市の高山才子さん・榎殺ちゃん、この前後に田上町の森田利枝さん・木葉ちゃん、新潟市の阿部正勝さんが入園し、記念品と花東が贈られました。現在、リス園にはシマリスが約百二十匹、ロシア・コムソモリスク市から来たキタリスが三匹います。



昨年十一月二十四日、七谷宮寄上にオープンした市民福祉交流センター「加茂美人の湯」

4月6日  
10万人  
加茂美人の湯  
128日目で達成

湯」の入場者数が十万人を突破しました。百二十八日の開館日数での記録は平均すると一日当たり七百八十一人ですが、一日の最高入場者数は、今年一月三日の千九百十九人だそうです。十万人目となったのは、新津市の佐藤一郎さんで、この前後には、五泉市の江口長平さん、下田村の高野弘美さんが入場されました。入場された皆さんは、家族や友人とおいでになっており、三組の皆さんに市長から記念品と花東が贈られました。

世界トップクラスの吹奏楽団

海上自衛隊東京音楽隊演奏会 6月29日(日)

海上自衛隊東京音楽隊は、陸上自衛隊中央音楽隊、航空自衛隊航空中央音楽隊と並び日本を代表するセントラル・バンドとして全国的に演奏活動を行っています。

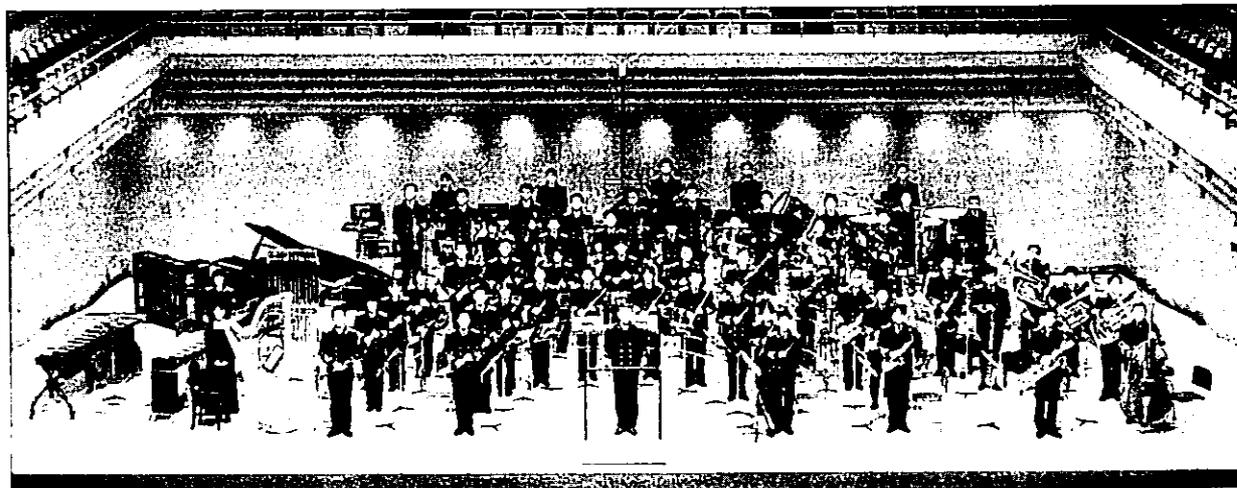
その活動は、皇太子殿下ご成婚パレード、オリンピックなど国家的・国際的な行事での演奏をはじめ、全国各地・世界各国での演奏活動が続けられています。

この東京音楽隊の演奏会が加茂文化会館で開催されますので、皆さま多数のご来場をお待ちしております。

加茂文化会館大ホール  
6月29日(日) 午後2時開演

入場無料：整理券をお持ちください  
(整理券は、文化会館、市民サービスセンターにあります)

問い合わせ先  
加茂文化会館  
☎ 53-0842



# 伝統技術の継承と

## 新製品の開発・普及に貢献

### 勲五等瑞宝章

(中小企業振興功勞)

### 田辺熊一さん

(松坂町・78歳)

「私のような者がいただける章なのかどうか。私個人でなく業界がいただいたものだと思っています」と、十年前の黄綬褒章に次ぐ受章の感想を語り、周囲の支えに感謝します。

田辺さんは、家業の建具業に勤しむかわら、指導者として加茂建具協同組合理事長・新潟県建具組合連合会会長を務め、現在は双方の相談役をされています。

全国初の木製サッシ「加茂サッシ」の産みの親と目されることについて「建具



## 長年の功勞・功績に感謝 春の叙勲

組合で共同開発・商品化したもので、自分は指導いただいた吉田桂二工学博士とのキャッチボールをサポートしただけ」と謙虚に振り返ります。それから二十年、「不況の時代でも、

いいものは多少高くても売れる。福島や愛媛県など県外受注も多く、アルミサッシに勝る機密性や水密性、そして抜群の断熱性など、ようやく品質、性能が認められてきた」と顔をほころばせます。

昨年退任した県連合会長としての一番の思い出は、一昨年六月に新潟市で開催した全国大会と全国建具展示会。実行委員長を務め、全国から同業者が参集し、展示会入場者五万人以上という大成功をおさめ、県経済への波及効果も多大なものがあつたと高い評価を受けました。忙しい合間にも「趣味はカメラとカラオケ」。特にカメラはコンテストに出品を勧められるほどの腕前ですが、「気に入ったものを大きくしたりして一人楽しんでいきます」とのこと。

## 商店街春まつり

駅前、穀町、本町の商店街では、大通りを歩行者専用にした会場をつくり、おおぜいの人たちで賑わいました。

子どもたちが大喜びのミニ蒸気機関車や、お祭りならではの輪投げ、サイコロゲーム、路上に広げられたフリーマーケット

# 5月3日

## 「薫風 開花」

### '03 成人式

今年の成人式出席対象者は、四百四十七人、当日の出席率は七一・八％でした。

会場は女性には振り袖、男性はスーツ姿がほとんどで、新成人の実行委員から外石達也さんと西村ひとみさんが進行役を務める式典が、三浦伸一教育委員長の開式の言葉で始まりました。続いて、小池清彦市長が易経と論語の一節を贈り、日本が不況の中から立ち直るための四つの処方箋を話し、世界を牽引する新成人へ期待しました。

新成人を代表して、小出山希

で品定めする姿は、初夏を思わせるような半袖姿が多く、春を飛び越えたような陽気となりました。



## 憲法記念日



喜びを述べる小出由希子さん

子さんが「きょうの薫風のようにさわやかな出発の日にした」と二十歳の誓いを述べ式典が終わりました。

この後、出身中学校別に記念撮影し、産業センターでの立食パーティーで友人たちとの再会を楽しみました。



今回はめまいの治療について述べます。めまいの治療の中心となるのは、薬物治療です。耳や脳など、その原因によっていくつかの治療法があります。

特に、耳のめまいの代表的疾患であるメニエール病や、突発性難聴に伴うめまいなどは、その疾患で決められた治療法が確立しています。また、急にめまいが起きて具合が悪く、薬も飲めない状態であっても点滴治療でめまいが軽快することも多いのです。

めまい患者さんに多く関わっている者として、どうしてもお話ししておきたいことがあります。それはめまいというのは、経験した者でないと、その苦しき、つらさは理解が困難である、ということなのです。めまいの患者さんはめまいが起こっているときには動けないほど苦しんでいます。症状が軽快すると健康人と変わらな

## めまいについて考えよう ～その3～

い状態に戻れるため、これが繰り返されると周囲の人は「なまけ病じゃないか」「精神的なものだ」と決めつけ、これがめまい患者さんを追い込んでいきます。

めまいの成因には、ストレスや精神的な影響が非常に大きいのは事実ですが、その基礎には必ず何らかの疾患があります。めまい患者さんのつらさを周囲の人、もちろん医師も十分に理解し、助けてあげることがめまいの重要な治療になるということを理解してあげてください。

めまいの原因には、多くの疾患が潜んでいますので、診断がつかないめまいに苦しんでおられる方は、ぜひともめまいを専門に扱っている医療機関への受診をお勧めします。

(加茂市医師会)

## 4月の 各種大会結果

### 雪椿杯争奪

### 加茂市近郷家庭婦人

### バレエボール大会

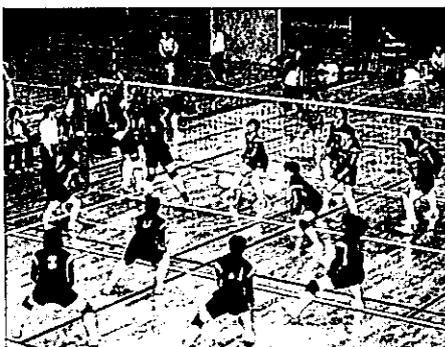
期日 四月十三日

会場 勤労者体育センター  
下条体育センター

大会には、下越・中越の九市町から十八チームが参加しました。結果は次のとおりです。

【決勝トーナメント進出チーム】  
新潟ひかりクラブ(新潟市)、つかさクラブ(加茂市)、豊浦クラブ(豊浦町)、ほないクラブ(三条市)

【優勝】新潟ひかりクラブ  
【準優勝】豊浦クラブ



## 第24回 雪椿マラソン

期日 四月十九日

当日、県内から百八十五人がスタートラインにならび、全員が完走しました。結果は次のとおりです。

コース▼10km Ⅱ駅前〜七谷大橋左岸(折り返し)〜小貫橋〜陸上競技場  
▼5km Ⅱ駅前〜小貫橋〜陸上競技場  
▼3km Ⅱ駅前〜駒岡橋〜陸上競技場  
【3kmコース】▼小学校三・四年生男子①古根大(白根・大通小)②田邊匠(加茂小)③桑原浩人(下条小)  
▼同女子①吉田智美(白根・茨曾根小)②西山瑞希(弥彦小)③長谷川侑紀(下条小)▼小学校五・六年生男子①中野伸也(石川小) Ⅱ最優秀選手賞②吉野真澄(見附小)③清水眞(下条小)▼同女子①島田美咲(見附小) Ⅱ最優秀選手賞②金田瞳(下条小)③危山友恵(加茂小)

▼中学校女子①相場耶絵(燕北中)②樋口奈々(危田中)③渡辺月子(同)▼一般高校女子①登石葵(白根高校)②波塚美奈子(下条小教)③鶴巻ジュディ(桜沢)  
【5kmコース】▼中学校男子①松葉崇(危田中)②板橋貴巳(同)③木我健太郎(同)▼一般高校男子②笹川智則(加茂地域消防署)③広川慎一(同)▼壮年の部(40歳以上)①阿部長二(二人で走ろう会)②丸山均

## 第55回加茂市

### 少年野球大会

期日 四月二十九日

会場 川西野球場

【優勝】茨中学校  
【準優勝】加茂中学校

## 第23回全日本学童野球

### 中越大会予選会

期日 四月二十九日

五月三日

会場 七谷野球場

【優勝】南イギリスA  
【準優勝】下条ファイターズ



# 長福寺の

## 「諏訪社据置紀念」の碑

下条小橋から長福寺道をたどり、下条川に架かる長福寺橋を渡ると、道は二筋に分かれる。左に行くと下条川ダム方面に至り、右方の道をたどると諏訪神社の参道入り口の前を通り、昭和四十三年に廃村になった山新田を経て、姫之城址方面に続く。

諏訪神社の山緒は「下条村是」(大正九年下条村長吉原治平太発行)によれば、「祭神健御名方命・勸請年月日不詳・寛正四年(一四六三)字榎峠ヨリ当地へ移転・社殿四坪二八・境内一八六坪」と記されている。榎峠は山新田方面に至る袖道という。諏訪神社へ登る石段は昔むし、登り口には珍しく石造台輪鳥居

が建てられている。社頭は老杉と竹林に覆われ、前庭の一部を高く盛り上げた所に、高さ八十四坪、幅五十六坪、層の五十嵐川産自然石の石碑が、高さ二十八坪の台石の上に建てられている。

碑面の中央には「諏訪社据置紀念」と大きく彫られ、その下部に「氏子惣代珊瑚庄蔵・西潟嘉蔵・安中寅蔵・評議員安中佐吉」と刻まれている。

碑陰は四段に分かれ、一段目に珊瑚庄蔵・大橋善吉・安中寅蔵・西潟長蔵・安中佐吉の五名、二段目に十二名、三段目に十二名、四段目に十一名の氏名



「山新田」へ向かう道脇にあるお社(やしる)

が彫られている。

明治三十九年八月、明治政府は、「山緒ナキ矮小ノ村社・無格社ノ合併」を勸奨する通牒を全国に発し、これを受けた新潟県知事阿部浩は、県下市町村長に次の合併基準を指示している(明治三十九年十月二十六日訓令甲第一八号)。

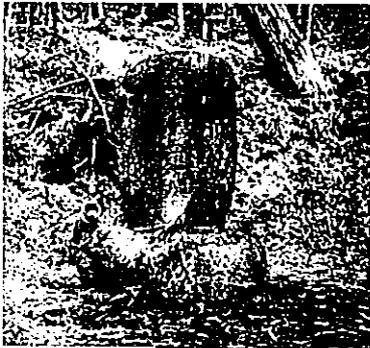
- 一 境内坪数 百五十坪以下
- 二 本殿兼拜殿五坪以下
- 三 氏子数 三十戸以下
- 四 社有財産 現金二百円以下

この訓令は、平和で静かな山峡の長福寺村に大きな波紋を生じ、合併・反対運動の末に財産二百一円八十銭を集めて合併を免れたという。この記念碑は、その証である。

碑の側面に「明治四十二年十月建之」と彫られている。波紋が収まるまでに約三年を要したのである。「石工諸橋金土」は、かつて新町上手通りにあった石屋さんである。

(古川 信三)

# 加茂の風土記



正面手前にたたずむ石碑

発行 加茂市役所  
新潟県加茂市幸町二丁目三番五号  
Tel 0256-2729  
Fax 0256-2729  
ホームページ <http://www.city.kamo.niigata.jp>  
Eメール [kamo@city.kamo.niigata.jp](mailto:kamo@city.kamo.niigata.jp)



総務大臣感謝状

中林 博さん(大郷町二)  
中林さんは、平成四年四月から今年三月までの十年間、行政相談員として務めてこられました。この功績に、総務大臣から感謝状が贈られました。おめでとうございます。



社会福祉寄付金

- ▼梅津明さん(故・梅津甫さんのご遺族 仲町)から 五万円
- ▼小林静次郎さん(故・小林ヨシさんのご遺族 若宮町一)から 五万円
- ▼堀内昭男さん(故・堀内トメさんのご遺族 上町)から 五万円

### 人口のうごき

5月1日現在  
世帯 9,868 (+7)  
人口 33,170 (-36)  
男 16,068 (-18)  
女 17,102 (-18)  
( )内は前月比

(4月異動分)  
出生 17(男10女7)  
死亡 36(男18女18)  
転出 79 転入 62

広報かも 4月号で掲載できなかったものを掲載します(広報かもお知らせ版4月15日号にも掲載してあります)  
人口のうごき 4月1日現在( )内は前月比  
世帯 9,861 (-4) (3月異動分)  
人口 33,206 (-47) 出生 19(男12女7)  
男 16,086 (-13) 死亡 30(男12女18)  
女 17,120 (-34) 転出164 転入128

福祉事務所へ  
▼横山英吾さん(故・横山トミさんのご遺族 五番町)から  
介護用品一式

編集 総務課  
印刷 小野塚印刷所